



ApeosPrint 4620 SDW

# 安全にご利用いただくために

- 本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。
- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。
- 商標については、「ユーザーズガイド」(公式サイト)を参照してください。



D03CFN001-00

607E 07600 / FD1379J1-1

1版

2025年4月

富士フイルムビジネスソリューション株式会社

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。




お買い上げいただいた商品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

## ⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

## 安全にかかわる表示

各警告図記号は次のような意味を表しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△: 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



注意



静電気破損注意



発火注意



破裂注意



感電注意



高温注意



回転物注意



指挟み注意



火災注意



回転部注意



鋭利部注意



鋭利部注意

⊙: 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁止



火気禁止



接触禁止



風呂等での使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



スプレー使用禁止



有機溶剤/液体使用禁止

●: 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指示



電源プラグを抜き アース線を接続  
せよ



## 電源およびアース接続時の注意

### ⚠ 警告



本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに接続してください。接続せずに使用した場合、感電及び火災事故の原因となります。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを850 mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（D種）を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、プリンターサポートデスクまたは販売店ににご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線、および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電及び火災事故の原因となります。



電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。定格未満の延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。



本機の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグや電源コンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などによって表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。

また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

## ⚠ 注意



本機の電源を完全に切るためには電源コンセントから電源プラグを抜く必要があります。

緊急時に容易にプラグを抜くことができるよう、本機は電源コンセントの近くに設置してください。



本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となります。



本機の電源を入れたままで電源コンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによって電源プラグが変形し、発熱による火災の原因となります。



電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



連休などで長期間、本機を使用しないときは、安全のために電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。



1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか
- 電源プラグに異常な発熱、およびサビ、曲がりなどはないか
- 電源プラグや電源コンセントに細かいホコリが付いていないか
- 電源コードにきれつや擦り傷などがないか

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

## 設置時の注意

### ⚠ 警告



本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となります。

### ⚠ 注意



次のような場所には、本機を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど



本機の包装に使用している袋、シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息の原因となります。

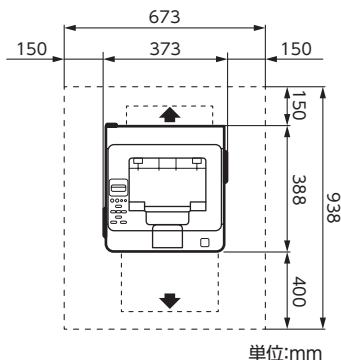


本機は、13.0 kg（最小構成時）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本機の転倒などによりケガの原因となります。



本機には通気口があります。本機 ■ 最小構成時

の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、次の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグを電源コンセントから抜くことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。





本機を10°以上に傾けないでください。  
転倒などによるケガの原因となります。



本機の電線やケーブルを束ねるために、ケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外の部品のご使用は事故の原因となります。

## •その他



本機の使用環境は次のとおりです。

- 温度：10～32.5℃
- 湿度：20～80%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、本機内部に水滴が付着し部分的に印字、または画像読み取りができないことがあります。

## 機械使用上の注意

### ⚠警告



マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



本機はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社の弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となります。


- 本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 本機の内部に水が入ったとき
- 本機が水をかぶったとき
- 本機の部品に損傷があったとき





本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、次のものは、本機の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの


液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機の内部がショートし、火災や感電の原因となります。

 電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙/導電性インクによるプレプリント紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となります。

 本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

 レーザーについて  
注意：マニュアルに書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被ばくの原因となります。失明、やけどなどの原因となります。

本機は、レーザーの国際規格IEC60825-1:2014（Class 1 レーザー機器）に適合しています。このことはレーザー被ばくの危険がないことを意味しています。レーザーは本機内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被ばくすることはありません。

 プリンターのマニュアルに指定されていない手順や調整を行うと、危険な放射線にさらされる可能性があります。

この製品はEN60825-1:2014/A11:2021 及びEN50689:2021の規格で定義されている消費者向けクラス 1 レーザー製品です。

この製品には、レーザーユニット内に目に見えないレーザー光を放射するクラス 3B レーザーダイオードが搭載されています。

レーザーユニットはいかなる状況でも開けてはなりません。


内部レーザー放射

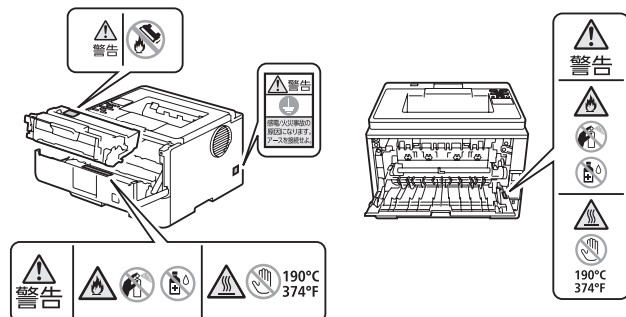
波長: 775 - 800 nm

出力: 最大 25mW

レーザークラス: レーザークラス3B

## 注意

 本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「感電注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となります。





本機の安全スイッチを無効にしないでください。本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となります。



本機の内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。ただちに電源を切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

## 消耗品取り扱い上の注意

### ⚠ 警告



消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。

本機内およびトナーカートリッジ等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。

掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発の原因になります。

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。

大量にこぼれた場合、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷の原因になります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

### ⚠ 注意



ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



- ・ トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- ・ トナーが目に入った場合は、目の痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- ・ トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。また、すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

## 規制について

### 警告



- ・ 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ・ また、本機は、日本国内でのみ使用できます。
- ・ 本機は工事設計認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本機を分解/改造すること
  - 本機の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- ・ 本機の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - 産業・化学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局（免許を要する無線局）

②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

- ・ ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・ 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。

- ・ 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、ただちに使用周波数を変更する、または電波の発射を中止したうえ、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- ・ その他、本機から電波干渉の事例が発生した場合など、お困りのときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本機の設置および使用は許されません。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本機を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本機を使用しないでください。
- ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本機を使用しないでください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

埋込み型心臓ペースメーカー、および埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本機の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

## ⚠注意



受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合、本機の電源を切ってください。

電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて、障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変える
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離す
- ・本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変える
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変える（アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください）
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変える



EMI基準への適合を維持するため、本機にはかならずシールドタイプのケーブルを使用してください。

静電気放電 (ESD) による損傷を防ぐため、内部電子部品の操作を行う前に、お客様の身体から静電気を放出してください。金属製の接地された物体 (パネルの塗装されていない金属面など) に触れることにより、静電気は放出されます。

### 電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

### 高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

### 通信回線について

本製品のネットワークポートは電気通信事業者 (移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等) の通信回線 (公衆無線LANを含む) に直接接続しないでください。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。

## SDS(安全データシート)の提供について

「労働安全衛生法」及び「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、本機用消耗品のSDSを以下の弊社公式サイトに掲載しております。

<https://www.fujifilm.com/fb/support/supply/msds>

## 環境について

- ・粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物 (TVOC) の放散については、エコマーク複写機・プリンターなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルのBlue Angelに基づき試験を実施しました。
- ・回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社、または販売店にお渡しください。

## サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品 (機械の機能を維持するために必要な部品) を本製品の製造終了後、7年間保有しています。

# 電波の種類と干渉距離について

## 2.4 DS/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

「DS」：変調方式がDS-SS 方式であることを表す。(IEEE802.11b のとき)

「OF」：変調方式がOFDM 方式であることを表す。(IEEE802.11g/n のとき)

「4」：想定される干渉距離が40 m 以下であることを表す。

「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

### IEEE802.11a / n

<del>J52</del>	W52	W53	W56
----------------	-----	-----	-----

#### W52、W53は屋内使用限定

「IEEE802.11a/n」：本製品が準拠する 5GHz 帯の無線規格を表す。

「J52」：34/38/42/46ch(5170-5230MHz) のチャンネル（周波数）が使用不可であることを表す。

「W52」：36/40/44/48ch(5180-5240MHz) のチャンネル（周波数）が使用可能であることを表す。

「W53」：52/56/60/64ch(5260-5320MHz) のチャンネル（周波数）が使用可能であることを表す。

「W56」：100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/144ch(5500-5720MHz)が使用可能であることを表す。

「W52、W53は屋内使用限定」：

W52、W53 は屋内でのみ使用可能であることを表す。